

イベント・企画

町内のにぎわいづくりを目的として、イベントや企画を実施しています。また地域活性化に取り組む団体・住民有志活動のサポートなども行いました。

3月10日帰還困難区域における避難指示区域の一部先行解除（夜ノ森駅周辺道路）
町内のできごと 3月14日JR常磐線・上野～仙台間の全線が再開。休止していた夜ノ森駅も新駅舎となり、大野駅・双葉駅も同時再開。9年ぶりに浪江駅～富岡駅が繋がりました。

2020.03.13
ありがとう常磐線代行バス！お見送り

浪江駅～富岡駅を結ぶ代行バス（浜通り交通運行）の運行終了の最終日に、地元有志の皆さんと共に富岡駅に集まり、運転手さんと乗務員さんへ感謝を込めて花束を贈呈し、20:20発/浪江行きの最後のバスをお見送りしました。



2020.03.14
おかえり常磐線全線再開！お出迎え

9年ぶりの全線再開をお祝いし、有志の皆さんと共にお出迎えを行いました。富岡駅・夜ノ森駅・町内各所から、横断幕を掲げ、桜をイメージしたピンクの傘やタオルを振りました。雨が降る寒い日でしたが、とても賑わい新しい線路に彩りと、明るい話題を添えることが出来ました。



2020.07.09
『おかえり花・はなプロジェクト』サポート

さくらハーバリウム会の活動

住民有志が町内の景観保持のために取り組んでいる活動をお手伝いしました。とみサポにも呼びかけ、岡内東児童公園の花壇・公園内の除草を行いました。同会は第53回「花いっぱいコンクール」で見事奨励賞を受賞しました。おめでとうございます！



2020.08～
『富岡つつじ再生プロジェクト』サポート

元気になろう福島主催・大桑原つつじ園協力

夜の森地区のつつじから挿し木を剪定し、その苗を育て再び町内へ植樹を目指すプロジェクト。苗育成（里親）ワークショップや、つつじによる地域活性化を考えていく意見交換会などに、とみサポメンバーも参加しました。



2020.12.01-25
とみおかイルミネーション

冬の名物をプラスするために2017年からスタート

今年は、夜の森に場所を変え、桜の開花基準木の周りに設置しました。総勢15名のメンバーが集まり、寒かったですがお和あいあいと設置作業を行いました。イルミネーション期間中は「YONOMORI まち灯り」（富岡町観光協会主催）も同時開催され、たくさんのお客様に足を運んでいただきました！

2021.03
夜の森クリーンアップ作戦

下旬実施予定

観光客に、富岡町が誇る夜の森の桜並木を楽しんでいただけるよう景観保持のため、ゴミや落ち葉の回収・清掃を、とみサポメンバーのみなさんと実施しています。

とみおかアンバサダー

とみおかアンバサダーとは、町外のとみサポの会員と一般公募から募ったとみサポプレミアム会員のこと。町の新たな魅力の発掘、町への関わり方の提案をし、交流人口を拡大するための活動を行っています。

2020.10.3
酒米収穫作業＆おつまみ開発試食会

町内の生産者さんの田んぼで、酒米の収穫作業をお手伝いしました。2021年の『富岡町産米使用スパークリングSAKE萌（きざし）』の原料となるものです。（※萌については当誌裏面で紹介しています。）

稲刈りの機械に乗ってみたい、刈った稲を運んだりなどの作業をお手伝いしました。

その後は「マリアージュとみおかプロジェクト」の試食会を実施。町の飲食店「cafe135（カフェひさご）」のシェフに考案してもらった富岡産タマネギを使った料理を試食するとともに色々な意見が交わされました。今後、実際に町の名物料理として、町に人が呼べるメニューを目指します。

富岡町で農作業を通して、単なる視察ではなく、アンバサダーが実際に体を使って町民の方と交流を深め、富岡で過ごす時間の中で、それぞれが「富岡の魅力」を見つけるいい機会となりました。参加者のみなさん自身の言葉で、自身のブログやSNSなどで、その思いを発信してくれています。それをきっかけに多くの方が富岡町に興味を持ってくれることを期待しています。

※このイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底したうえで実施しました。当日イベント実施後、2週間以上経過後、参加者の健康に異常がないことを確認しております。



※とみおかプラスで取り組んでいる、富岡町産のお酒×富岡町産食材のおつまみのマリアージュ（組合せ）を開発するプロジェクト

イベント出店サポート

町の農産品・特産品をはじめ、町の Mascot キャラクター「とみっぴー」のグッズ販売など、イベント出店をお手伝いし富岡町のPR活動をしました。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年参加していた町内外のイベントが軒並み中止となりましたが、参加したいイベントでは、お客様・関係者様にあつちがご対応をいただき、改めて、町と町、人と人のつながりに感謝出来る機会となりました。



黒石こみせまつり
2020.09.12 青森県黒石市：黒石市中町・前町
青森県黒石市のまちなか文化祭・第35回「黒石こみせ祭り」にて富岡町物産ブースの販売のお手伝いしました。同市とは『東北ふるさとCMフェスティバル2020』にて各県のCM大賞受賞者で一緒に緑で繋がりました。



いわきFCホームタウンデー
2020.09.27 広野町：Jヴィレッジスタジアム
サッカーのいわきFCが試合＊を行い「ホームタウンデー」として、各自自治体の特産品PRブースに出店しました。（いわきFCは2020年よりホームタウンをいわき市と双葉郡の9市町村と拡大しました）
※JFL第2節FC大阪戦「ANAプレゼンツマッチ」



富岡町物産展 inアグリパークゆめすぎと
2019.12.13 埼玉県杉戸町：あぐりパークゆめすぎと
友好都市締結10周年を記念し、富岡町物産展を埼玉県杉戸町で開催しました。杉戸町の皆さんにたくさんご協力いただき、無事開催することが出来ました。
※毎年参加していた杉戸町産物祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

町民有志による勉強会

福島イノベーション・コースト構想の中核施設として、政府が浜通り地域に整備を検討している「国際教育研究拠点」について、住民有志で勉強会を実施しました。

町民有志による「国際教育研究拠点誘致に向けた勉強会」を全4回にわたって実施しました。様々な議論と考察を重ね、国際教育研究拠点（以下、研究拠点）を富岡町に誘致することによってどのような魅力あるまちづくりが可能であるかをまとめ、町へレポートを提出しました。

<p>2020.07.06 第1回 テーマ：住民勉強会をはじめましょう この日はじめて町民有志が集い、研究拠点に関する国・県・町の方針を確認。町の歴史や、震災以前に整備が進められていた富岡の教育について理解を深め、拠点誘致と、これからのまちづくりへの期待・希望を語り合いました。</p>	<p>2020.07.20 第2回 テーマ：双葉郡全体を見据えた富岡町発の取り組み 研究拠点誘致により町がどのように発展していくか、町民（民間）の視点から整理することを試みました。考察にあたっては、富岡町を中心とした民間の取り組みについて、「双葉郡未来会議」（一社）とみおかワインドメーヌから事例報告いただきました。</p>
<p>2020.07.27 第3回 テーマ：群都・富岡から双葉郡へ この勉強会では「研究拠点を町に誘致することで、富岡だけでなく双葉郡全体にプラスの効果をもたらすだろう・もたらしたい」ということが語られてきました。双葉郡の中核を担う富岡に拠点を設けることで、どのような波及効果を生むことができるか、寸劇を交えながら想像を膨らませました。</p>	<p>2020.08.17 第4回 テーマ：レポートの共有 勉強会の集大成として、町民有志の思いを可視化したレポートを制作。富岡町に研究拠点が置かれることで、どのように富岡町・双葉郡が発展を遂げ、新住民（研究拠点を働く人やその家族）を含めた地域住民の暮らしがどのように向上していくかを整理しました。</p>

2020.09.10 報告会
町長・副町長に向けて町民有志勉強会の成果を報告し、行政と協力して拠点誘致を目指すことを提案しました。宮本町長からは「住民が自主的に話し合っていることを嬉しく思う。町をつくるのは『民の力』すなわち『人』である。これからも民間と行政、手を取り合って進めていきたい」とお話しいただきました。

2020.10.30 県知事との意見交換会
富岡町を訪問した内閣府知事を前に、町民有志の代表者が勉強会について報告を行い、拠点誘致と新たなまちづくりに対する町民の積極的な姿勢をアピールしました。

住民の思い（4回のワークショップから）



※福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって損失した福島浜通り地域の産業基盤を回復するために、イノベーションの創出で新たな産業基盤の構築を目指す。福島復興再生特別措置法に位置付けられた国家プロジェクトです。